

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
4		地域との付き合いが少ない。	自治会近隣の学生等との交流する機会を作り、地域行事への参加や異世代交流ができ活気ある事業所にする。	1. 自治会長とのコミュニケーションを定期的にとることで地域行事への参加ができるようにする。 2. 近隣の高校・幼稚園などに訪問依頼する。	⑥ヶ月
2		経営母体の変更から1年、体制や介護に対する考え方など意思統一された運営とはまだいえない。	運営に関する職員の意見や提案を定期的に関き、利用者にとって職員にとって良い運営をできるようにする。	1. 2か月に1回程度の個人面談 2. 運営方針の掲示	6ヶ月
1		介護計画がありきたりかつ個別性に欠けている。	個別性を重視し各利用者の楽しみや生きがいなども計画に取り入れ、生活の質に重点を置いた介護計画の作成ができる。	1. 本人、ご家族の意向を把握する。 2. 現在の状況を正しく把握するため職員会議を行い多角的な意見を募集する。 3. 危険防止、生命の保持の他に必ず楽しみを入れた計画立案する。	6か月
3		看取りを行っているが、看取りについての話し合いをしたことがない。ご本人やご家族が満足した看取りを行っているか把握していない。	看取り後にチームケアの振り返りをして看取り介護の質の向上を目指す。	1. ご本人ご家族の意向を把握する。 2. 看取り後カンファレンスを行いご家族の意見も取り入れる。 3. 改善点を明確にし次に活かす。	6ヶ月
5		災害用の備蓄が完全でない。その他パート社員も災害時マニュアルを熟知しているか不安である。	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築く。災害時に備えて食料や飲料水の整備を定期的に行う。	1. 備蓄品のチェック・補充 2. 係を決め定期的にチェックすることにする。 3. 災害マニュアルを全員が熟知する。	6ヶ月